

令和4年度 長崎県立上対馬高等学校 学校関係者評価報告

1 実施方法・場所等

学校関係者評価委員会の各委員（学校評議員兼ねる）に、保護者・生徒・教職員による学校評価を資料として提示し、実施日に本校で評価を受けた。内容として、本校における評価が適切に行われているかどうか、教育活動その他の学校運営の改善に向けた取組が適切かどうかなどについて検証していただいた。

2 実施日時 令和5年2月21日（火） 15:30~16:30

3 学校関係者評価委員 学校評議員の3名。

宮原 公明 氏（同窓会会長）、八坂 健一 氏（中学校長）、武末 聖子（会社役員）

4 学校関係者評価の内容

（1）生徒による評価

全体的に、昨年・一昨年より評価が下がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が24項目2項目あった。

⑲「中高一貫教育の広報」 ⑳「中高一貫教育の地域への貢献」

（2）保護者による評価

全体的に、昨年・一昨年より評価が下がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が24項目5項目あった。

⑪「相談しやすい雰囲気づくり」 ⑫「相手を思いやる指導」 ⑭「図書館だより」

⑱「施設・設備の整備」 ⑳「中高一貫教育の広報」

24項目中1項目、昨年・一昨年と比較して評価が上がっている。

⑭「図書館だより」

（3）教職員による評価

全体的に、昨年・一昨年より評価が下がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が18項目中10項目あった。

イ「学年や分掌との連携」 ウ「教育課程の生徒の実態に合わせた検討」

ケ「特別な支援を要する生徒等の理解と組織的対応」

コ「生徒の悩み等の把握・保護者との連携」

サ「学年の組織的取組」 ス「教職員の指導力向上」 ソ「施設・設備の安全管理」

タ「校務処理の効率化を促進」 ツ「望ましい連携の在り方」

（4）学校関係者評価委員からの指導・助言

個人指導が丁寧に行われ、大学進学への対応ができており、現在もそれを維持していると思う。生徒数を増やす意味で、バイク通学の導入は一步前進と言える。学科の新設など、10年くらいかけて新たな学校の特徴を持たせてもらいたい。他校との交流など、生徒の視野が広がるような体験活動を推進してほしい。生徒が落ち着いていて良い高校生活を送ることができているようで、中学校の立場としても、安心して生徒を送り出すことができている。